

# 令和8年度行財政改革取組方針

## ～ありたい姿を目指す未来志向の行財政改革～

創生推進本部長

本市の財政状況は、増加傾向にある社会保障費や近年の物価高騰により、今後一層厳しさを増すことが見込まれます。こうした中にあっても、市民の安全・安心な暮らしを守りつつ、未来に必要な施策を着実に進めるためには、限られた財源を効果的かつ効率的に活用することが不可欠です。

このため、令和8年度の事務事業の見直しに当たっては、3年サンセット方式を基本に、各事務事業がその目的に照らして適切なものであるか、その必要性や効果等について、エビデンスとロジックに基づく客観的な視点から検証・見直しを進めます。

あわせて、公共施設の適正化に向け、特に早期に検討を要する施設については、財政負担も踏まえながら、その方向性を定めます。

持続可能で規律ある行財政運営を進めていくため、未来志向のもと、全庁的な連携体制で改革に取り組みます。

### 1 令和8年度の事務事業の見直しについて【※別添「フローチャート」参照】

#### (1) 各部等における見直しの検討

##### ① 見直し対象事業

以下のいずれかの項目に該当する事業を選定し、必要性や効果、効率性等の視点から分析・評価を行い、廃止を含めた見直しを検討します。

ア 令和5年度に開始・検証した事業（3年サンセット方式による見直し）

イ 行革推進課の選定事業

- ・ 予算規模や令和8年度当初予算査定時の協議等から選定した事業
- ・ イベント等の開催・支援事業

ウ その他事業（各部提案）

- ・ 「スクラップ・フォー・ビルド」の観点から廃止・縮小する事業

※令和9年度に新たに事業を開始するために、より効果の低い事業を廃止、見直し

- ・ 事業費及び成果指標等の推移からみて、検討を要する事業
- ・ 県内他市や類似団体と比較して、著しく相違のある事業

- ・ 職員の働き方や職場マネジメント等の視点から最適化が求められる事業（業務）など

##### ② 見直し方法

現状維持を前提とせず、廃止を含めてゼロベースで検証を行います。特に法的に必須ではない事務事業については、目的や成果とのつながりを整理し、合理的根拠（データ等を用いたエビデンス・ロジック）に基づき、その必要性や効果を検証した上で、令和9年度における取組の方向性を判断します。

##### ③ 行革推進課による検証

見直し内容を検証するため、行革推進課によるヒアリングを行います。ヒアリングでは、E B P M及び行財政改革推進の観点から、業務プロセスやデータ利活用の状況等についても

協議します。検証した事業については、以下のとおり整理します。

ア 検証済み事業：担当課見直し及びヒアリングで「見直し完了」とする事業

イ 協議継続事業：見直し内容について、以下④で協議を継続する事業

#### ④ オータムレビュー、当初予算査定

協議継続事業の中から、見直し内容や事業規模等を勘案し、オータムレビューで今後の施策の方向性を協議する事業を「レビュー実施事業」として選定します。

レビューにおいて決定された方向性は、次年度の当初予算に反映させることとします。

なお、レビュー対象外の事業については、令和9年度当初予算の査定時に見直し内容を協議することとします。

#### ⑤ 見直しの進捗管理

見直し内容の取組状況は、次年度予算への反映状況を含めて、行革推進課において進捗管理を行います。

### (2) 行財政改善委員会による検証

外部の視点から検証を要する事業を対象に行財政改善委員会による検証を実施します。

#### ① 検証対象事業

別紙1のとおり

#### ② 検証方法

事務事業の目的、実施内容、目指す成果（アウトカム）及びその現状等を提示し、その有効性や実施方法の妥当性等について、委員会から意見を聴取します。

#### ③ 見直しの実施

行財政改善委員会からの意見を踏まえ、事務事業の継続の可否も含め、令和9年度における取組の方向性を判断します。

### (3) 課題解決に向けた検討

スプリングレビューで見いだされた中長期的な課題等について、解決に向けた検討を進めます。

#### ① 検討対象課題等

別紙1のとおり

#### ② 検討方法

- ・各部等において、実施手法やスケジュール、コスト算出など具体的な対応方策を関係部局と調整を図りながら検討します。
- ・オータムレビュー時に対応方策について協議し、次年度の当初予算への反映も含め、方向性を決定していきます。

#### ③ 進捗の管理

検討状況については、行革推進課において進捗管理します。

## 【スケジュール】

|          | 各部等による見直し                     | 行財政改善委員会                  | 課題解決    |
|----------|-------------------------------|---------------------------|---------|
| 5月21日(木) | 事務事業見直しシート作成依頼                | 検証シート作成依頼                 | 対応方策の検討 |
| 6月18日(木) | 事務事業見直しシートの提出                 | 検証シートの提出                  |         |
| 7月～8月中旬  | 事務事業見直し内容等に対するヒアリング<br>(別途通知) | 行財政改善委員会<br>(7月2回、8月2回予定) |         |
| 9月       | オータムレビュー実施事業の選定               | 委員会意見を踏まえた見直しの検討          |         |
| 10月下旬    | オータムレビュー                      |                           |         |
| 11月上旬    | 予算編成開始                        |                           |         |

## 2 公共施設マネジメントについて

### (1) 対象施設（早期に検討を要する施設）

別紙2に掲載する施設及び各部等における提案施設

### (2) 行革推進課による検討

施設所管課における対象施設の方向性の認識や、施設の現状等を確認したうえで、行革推進課において、施設の必要性、利用状況、維持管理コスト等を踏まえ、以下について整理していきます。

- ・方向性（廃止・売却、統合・再編）
- ・事業費の見込み及び財源
- ・スケジュール
- ・個別施設計画への反映

整理状況をオータムレビューにおいて協議します。